

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 12月 24日

協議会名: 石狩市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) |
|---------------------|--|---|--|--|--|
| 石狩市地域公共交通 活性化協議会 | 運行系統名: 浜益南北方面 運行区間: 雄冬や柏木などの 各戸から幹線交通に接続または 浜益温泉や診療所などまで (予約制デマンド方式) | 地域間幹線系統(中央バス厚 田線)の運行ダイヤに対応し て、運行し、接続に努めた。 シン・石狩市地域公共交通計 画に基づき、乗り継ぎ拠点である 道の駅にパンフレット等を備 え置いたほか、中央バス車内 において乗継アナウンスを行 い、利用促進に向けたPRに努 めた。 | A 予約がないことによる運休 のため実績運行回数が計 画運行回数を下回ったもの の事業は適切に実施された | B 【事業の目標】 年間利用者数(令和6年10 月～令和7年9月) 目標: 1,626人 実績: 1,072人 当該地区の人口減少に伴 い、利用人数も減少したた め目標人数に達することが できなかった。 | 引き続き利用者ニーズの把握 に努め、運行委託事業者と連 携して利便性等の向上に向け た改善を図っていくとともに、さ らなる利用者増に向けてより一 層の周知を図る。 また、運行の安全対策を徹底 し、利用者の安寧な移動環境 が創出できるよう努める。 |
| | 運行系統名: 浜益東方面 運行区間: 浜益、柏木、川下、 実田、御料地各戸から幹線交 通に接続または浜益温泉や診 療所などまで (予約制デマンド方式) | | | | |
| | 運行系統名: 厚田方面 運行区間: 浜益区内各戸から 北海道中央バス厚田線に接続 (予約制デマンド方式) | | | | |

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 7年 12月 24日

| | |
|-----------------------------|---|
| 協議会名： | 石狩市地域公共交通活性化協議会 |
| 評価対象事業名： | 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 |
| 地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性) | <p>石狩市は札幌市の北側に位置し、南北に長く日本海に面している。面積は721.86km²、人口は約58,000人である。北海道中央バス札幌浜益線は、浜益区の区間が不採算路線となり、平成28年3月31日に廃止となった。</p> <p>また、石狩市全体の高齢化率は34.0%（令和7年10月時点）であるが、とりわけ浜益区の高齢化率は57.4%（令和7年10月時点）と浜益区の高齢化が著しいことから、高齢社会における地域住民の生活交通の確保が重要である。</p> <p>このようなことから、事業採算性を意識しながら高齢者等交通弱者の「生活の足」を確保するための、利便性が高く、将来にわたって持続可能な公共交通体系を構築する必要がある。</p> <p>そのため、浜益区における高齢社会や住民ニーズに即し、かつバス交通に関する財政負担の軽減のため、浜益区内全域を網羅するとともに、地域間幹線系統（北海道中央バス）との接続を目的とした、持続可能な地域旅客運送サービスを提供し、区民の生活利便性の向上を図ることを目的とする。</p> |

石狩市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

石狩市全体の高齢化率は34.0%(令和7年10月時点)であるが、とりわけ浜益区の高齢化率は57.4%(令和7年10月時点)と浜益区の高齢化が著しいことから、高齢社会における地域住民の生活交通の確保が重要である。

このようなことから、事業採算性を意識しながら高齢者等交通弱者の「生活の足」を確保するための、利便性が高く、将来にわたって持続可能な公共交通体系を構築する必要がある。そのため、浜益区における高齢社会や住民ニーズに即し、かつバス交通に関する財政負担の軽減のため、浜益区内全域を網羅するとともに、地域間幹線系統(北海道中央バス)との接続を目的とした、持続可能な地域旅客運送サービスを提供し、区民の生活利便性の向上を図ることを目的とする。

生活交通確保維持改善計画の目標

浜益厚田間乗合自動車運行事業の年間利用者数 1,626人
(令和6年10月～令和7年9月まで)

令和7年度事業概要

| 浜益南北方面 | 浜益東方面 | 厚田方面 |
|---|--|------------------------------|
| 雄冬や柏木などの各戸～幹線交通または浜益温泉や診療所など運行(予約制デマンド方式) | 浜益、柏木、川下、実田、御料地各戸～幹線交通または浜益温泉、診療所など運行(予約制デマンド方式) | 浜益区内各戸～中央バス厚田線に接続(予約制デマンド方式) |

地域公共交通の現況

- ・北海道中央バス株式会社(市内11路線17系統)
- ・沿岸バス株式会社(市内1路線)
- ・浜益滝川間乗合自動車(1路線)
(自家用有償運送)
- ・スクールバス(10路線)(混乗含む)
- ・タクシー会社2社
- ・AIデマンド交通「いつも」市内デマンド
- ・その他実証運行路線複数あり

協議会開催状況

令和7年4月24日 令和7年度第1回協議会
 ・地域公共交通活性化協議会設置要綱の改正等
 令和7年6月23日 令和7年度第2回協議会
 ・地域公共交通確保維持改善事業に係る計画認定申請等
 令和7年8月21日 令和7年度第3回協議会
 ・石狩庁舎以北の代替交通(修正案)等
 令和7年9月10日 令和7年度第4回協議会
 ・石狩庁舎以北の代替交通(修正案)【継続協議】等
 令和7年10月28日 令和7年度第5回協議会
 ・石狩庁舎以北の代替交通(修正案)【継続協議】等
 令和7年12月24日 令和7年度第6回協議会
 ・地域公共交通確保維持改善事業の事業評価等

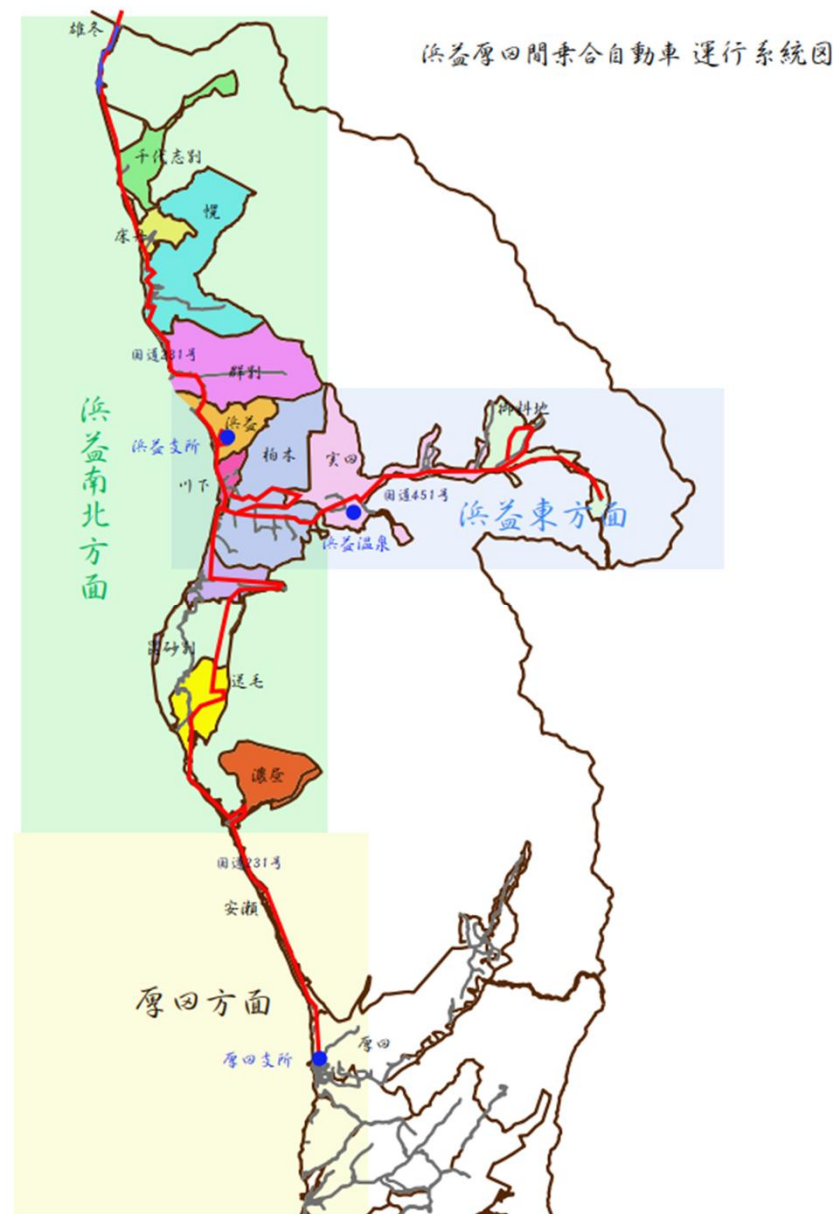
1) プロセス、創意工夫

利用促進を図るよう努めた。

【利用促進】

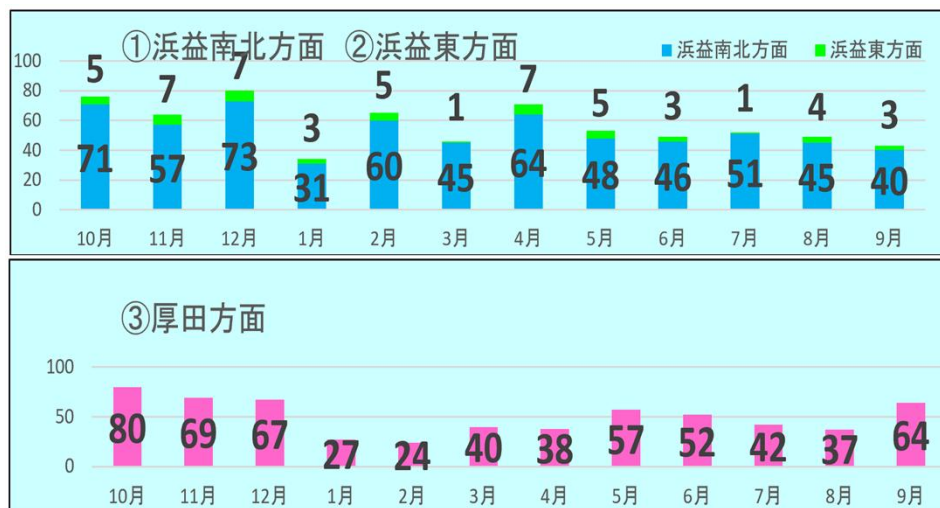
- ・ポスター及び名刺サイズの周知カードを継続して設置
- ・中央バス厚田線の車内において、デマンド交通の乗り継ぎアナウンスを実施

2) 運行系統

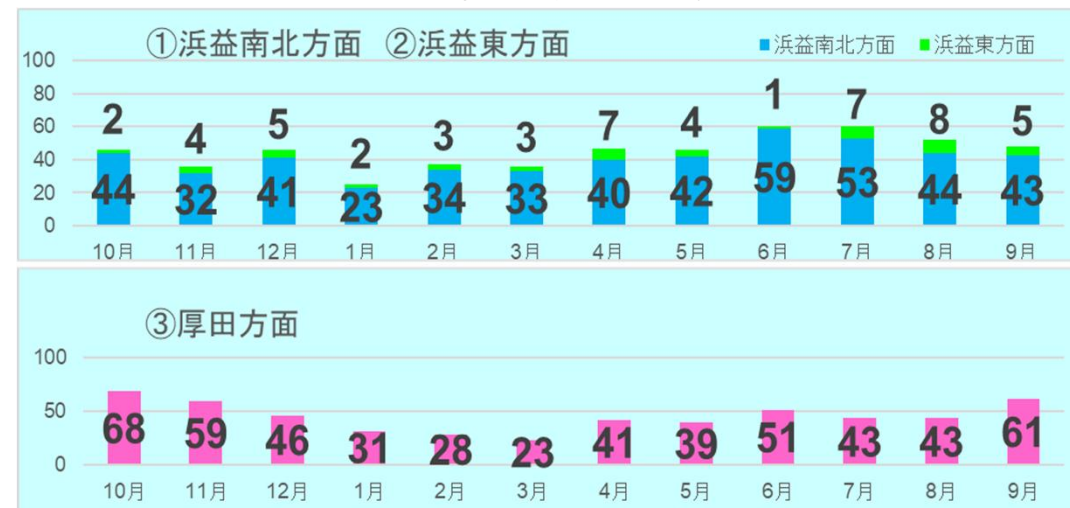


3) 利用実績

令和5年10月～令和6年9月の輸送人員 のべ1,279人（単位：人）

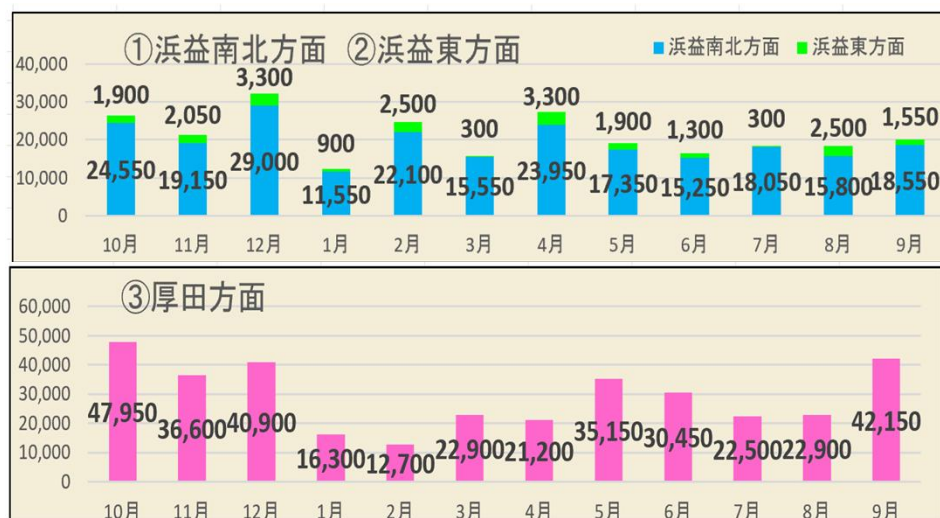


令和6年10月～令和7年9月の輸送人員 のべ1,072人（単位：人）



4) 収入実績

令和5年10月～令和6年9月の運送収入 625,950円（単位：円）



令和6年10月～令和7年9月の運送収入 505,050円（単位：円）



5)事業実施の適切性

予約がないことによる運休のため実績運行回数が計画運行回数を下回ったものの事業は適切に実施された

6)目標・効果達成状況

【事業の目標】

年間利用者数(令和6年10月～令和7年9月)

目標:1,626人

実績:1,072人

当該地区の人口減少に伴い、利用人数も減少したため目標人数に達することができなかった。

7)事業の今後の改善点

引き続き利用者ニーズの把握に努め、運行委託事業者と連携して利便性等の向上に向けた改善を図っていくとともに、さらなる利用者増に向けてより一層の周知を図る。

また、運行の安全対策を徹底し、利用者の安寧な移動環境が創出できるよう努める。

8)地方運輸局等における二次評価結果(案)

運輸局記載欄